相模原市青少年指導委員
広報誌！

はげいとう

第 71 号
相模原市青少年指導委員
連絡協議会

発 行 編 集　広 報 部
発行責任者　齊藤一城

特集：神奈川県青少年指導員大会

指導員大会、盛況でした！

会長　齊藤　一城

2024 年 11 月 10 日、コロナ禍を経て 9 年ぶりに相模原で開催された神奈川県青少年指導員大会を盛況のうちに終えることが出来ました。

県内各地より本大会に来ていただいた青少年指導員の皆様には楽しんでいただけたことと思います。ありがとうございました。

今回受賞された皆様、誠におめでとうございます。長きにわたる青少年指導員活動へのご協力に感謝いたします。

大会当日は、インパクトのあるオープニング、事例発表、会場前ロビーでのパネル展示等で相模原の特色をアピールできたことと思います。

また、JAXA の津田先生には大変有意義なお話を聞かせていただきました。

開催者側からの一方的な発信で終わることなく、参加者との相互共有ができ、皆さんの心に残る大会に出来たのではないかと少し安堵しております。

事前準備、当日の実行に協力いただいた実行委員をはじめ、県職員、相模原地区の多くの方々のおかげで無事開催できました。心より感謝いたします。

次回は湘南地区での開催となります。

よろしくお願いいたします。

■はげいとう　の名称について

1968 年青少年指導員制度が制定され、同年 9 月、『青年の家』で宿泊研修が行われました。
青年の家の庭に咲いていた『ケイトウ』の花が夕映えに輝き美しかったことや、ゲーム研修での『土びん、茶びん、はげ茶びん』が楽しかったことを忘れずにとの思いから、広報誌を作成するにあたり、『はげいとう』と名付けられました。

県大会を振り返って

ほぼ満席の会場

開会の少し前から小雨がぱらつく天気となりましが、第 55 回神奈川県青少年指導員大会は、11 月 10 日(日)に相模原市南市民ホールで開催されました。

本大会は、「県内各地域で青少年の健全育成活動に取り組んでいる青少年指導員が年に 1 回、一堂に会し、青少年健全育成に関する最新の情報の収集や、各地域での活動に係る情報交換、活動のあり方の研究協議等を行うことにより、相互理解と連携を深め、青少年指導員活動のより活発な展開を図る。」といった趣旨で開催されています。

今回は、「育てよう豊かな心 伸ばそう若い力」といったテーマのもと 394 席のホールは、満席かと思えるぐらいに 300 人超えの青少年指導員が集いました。

和太鼓演奏

■ 開会／主催者あいさつ

大会のオープニングは、光明学園相模原高等学校和太鼓部の迫力ある和太鼓演奏から始まり、「スタールンバ」と「凌火（りょうが）」の 2 曲が披露されました。

大会実行委員会実行委員長として齊藤会長から開会宣言に続き、主催者 3 名の方から挨拶が行われました。

辺見会長

辺見県連絡協議会会長：子どもたちを取り巻く環境の変化にともない、青少年指導員活動にも少しずつ影響がでています。子どもたちの笑顔が途切れないような活動を続けて欲しい。

首藤神奈川県副知事：地域の身近な大人として子どもたちと関わり、様々な体験や人と触れ合う機会を創ることで子どもを輝かせることができるように活動をして欲しい。

本村市長

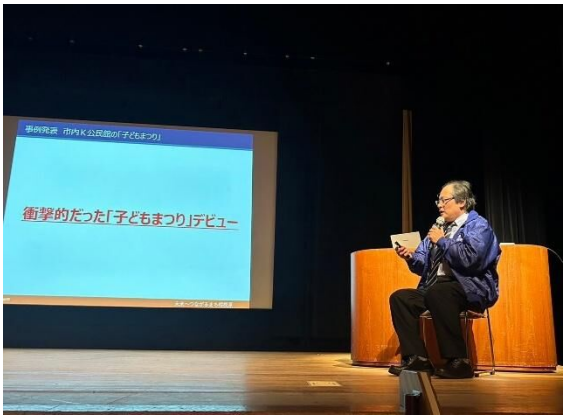
本村相模原市長：子どもたちに勇気を与えて、子どもたちの背中を押して欲しい。子どもたち自身が夢や多様性をもって自分自身の一歩一歩を踏み出せるように一緒に応援していきましょう。

■ 青少年指導員表彰式

受賞者 84 名のうち 55 名が参加されました。

感謝状授与は、主催地域として相模原地域が最初に行われました。藤野地区の佐藤亘さん、陽光台地区の安田京子さん、上鶴間地区の宮地よし子さんの 3 名が受賞され、宮地さんが代表として壇上で感謝状を受け取りました。おめでとうございます。

■ 青少年指導員活動事例発表



相模原市青少年指導委員を代表して入江事務局長より「子どもまつり」をトピックとして取り上げた活動紹介が行われました。

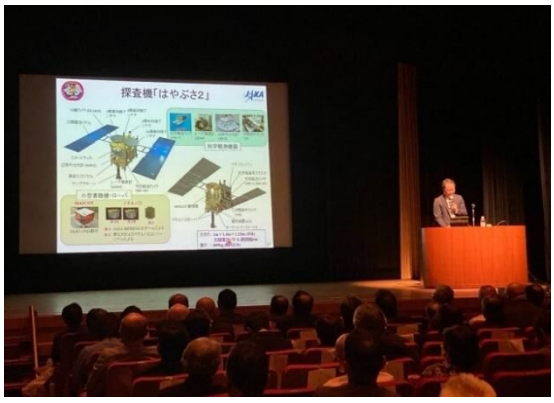
前半は、公民館区を基礎単位として 27 地区を拠点に活動していることや 6 つのブロックに分かれて研修を行っていることなどが紹介されました。

それまでは演台の後ろに立って説明されていましたが、その後、スーツの上着から、青少年指導委員のブルーのユニフォームに着替えて、用意されていた演台前の椅子に座り、「子どもまつり」の話に入っていきました。自身の体験を通したストーリーが展開され、大学時代の夏に関わるようになったいきさつから始まり、「子どもたちのアイデアを受け止めるためにマニュアルを作らない」といった子どもまつりの「おきて」に衝撃を受けたとも。

「子どもまつりを通して出会った、子どもたちの声」と題して子どもたちとの関わりの事例を通して、子どもたちの悩みが聞ける人間関係を作ることが大切であり、それは、声かけから始まるといったことを伝えていました。

■ 講演「好奇心と縁が夢をつくる」JAXA 宇宙科学研究所教授 津田 雄一 氏

ご自身は相模原市出身であり、小学生時代からどのように宇宙に興味を持つようになったのかといったいきさつから紹介されました。10 代を振り返り、ともだち作りや学校だけが全てではなく「自分らしさをさらけ出せる場所に、身を置くことが大切」であると述べました。大学では航空宇宙工学を学び、多くの縁によりキューブサットの原型となる超小型衛星の開発が成功した事例が紹介されました。



JAXA 探査機「はやぶさ 2」については、予想外の困難に対して、いかにして小惑星リュウキュウの着陸を成功させたのかを多くの動画や詳細な資料を用いて臨場感ある説明をされました。また、2 回目のタッチダウンでは地上を爆破して地下物質を採取し、地球に持ち帰ることに成功しています。世界中の研究者に十分な量だそうです。

はやぶさ 2 は拡張ミッションを与えられ、現在も飛行中です。

2026 年に小惑星(2001 CC2)、2031 年に小惑星(1998 KY26)を訪れる予定とのこと。

「大切なのは、縁と好奇心、そしてそれを伸ばす環境が重要である。そして、とにかく沢山トライすること、手を動かさないと見聞きだけでは経験にはならない。大人の立場として失敗に寛容であって欲しい」と結びました。

■ 閉会

講演を以て大会プログラムは終了となり、次回開催地、湘南地域の錦織会長より挨拶があり、最後に伊藤副会長より「閉会のことば」で締めくくられました。

※伊藤時彦副会長は、2024 年 12 月 28 日に逝去いたしました。
生前のご功績を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

■ パネル展示

受付はホールの手前に設置され、この日のために準備した「はげいとう 70 号」は、受付にて参加者全員に配布されました。

会館のエントランスから受付まで続く通路の右側には壁に沿って A ブロックから F ブロックまで、ブロック単位で 6 つのパネルが用意され、それぞれのブロックの特徴的な活動が紹介されました。また、それぞれのパネルには複数の地区を 1 つのブロックとしてまとめるための工夫等が施されていました。用意した模造紙をはみ出るようなアピール、有料のフォトサービスでプリントした写真の使用、飛び出す絵本による空間利用するなど、各パネルで工夫が凝らされていました。さらに、A から C ブロックには、パネルの手前にテーブルも用意され、地区公民館の館報の配布、地域の魅力に触れられるシールブックの配布、手に取って体験できる工作などが出展されました。

事業企画部の展示

通路左側には各専門部のパネルや展示が並びました。

事業企画部では、パネルではなくテーブルを用意して、その上にクリスマスオーナメント、身近な材料で作られた食品サンプル（たこ焼き、焼きそば、タピオカドリンク、リンゴ飴等）、折紙で作成された「いらいらキュービック」、紙コップの「鳴くにわとり」、ビニール袋と紙でできた「海底探索」、電球の発熱で回転する「灯ろう」等が展示されました。

また、来場者用に用意された「簡単でお金をかけない子ども向けの創作集」は、用意した 100 部が早々に底をつく人気ぶりでした。

研修部では、パネルが設置され活動方針・活動内容の紹介から始まり、研修部内向けに行われたアイス・ブレイク研修、うどん作り、相模原市内の特色を生かした「相模原ふるさといろはかるた」が紹介され、ブロック単位で年に数回のブロック内研修が行われていることも紹介されていました。

研修部の展示

また、パネルの手前のテーブルには 20 個近い折紙のサンタクロースが置かれ、そこには「お持ちかえりください」といったメッセージも！

よく見ると、このサンタクロースには、赤白反転しているものや、あご髭が無いものなど「ウォーリーを探せ」のような遊び心が入っていました。

広報部のパネルでは、「はげいとう」ができるまでの流れから始まり、相模原市青少年指導委員の年間の主な事業が紹介され、情報をタイムリーに伝えられるように「はげいとう」特別号や号外も作成していることや X (旧 Twitter)をやっていること、ホームページを始めたことなどが紹介されました。パネルの手前にはテーブルも設置され、「はげいとう」バックナンバーの 66 号から 69 号が希望者に配布されました。休憩時間に別地域の方から「よく編集されていますね」といったお褒めの言葉などもいただきました。

広報部の展示

これらのパネルや展示の説明員として相模原の青いユニフォームを着た青少指でエントランスはブルーの花道が出来あがっていました。

県大会を振り返って(パネル展示 A,B ブロック)

相原地区では、活動内容や写真の選定に気を使いました。そこで、興味のありそうな内容や目立つ配色にしました。

橋本：この 2～3 年の活動の中で、特に子どもたちに評判の良かった事業の写真と、貼りだしできる目立つ工作物を紹介させていただきました。

小山：展示を作成するにあたり、文字が多いと読んでもらえないのでは？と考え、写真で行事と今後の予定を載せました。たくさんの写真の中から厳選するのが大変でした。

大沢：公民館と地域とともに、子どもたちの笑顔と活躍の場を創りたい。

横山地区は、小学生の親子対象のケーキ作りがとても人気があり、いつもバレンタインデーに合わせて 2 月に行われているので、昨年度の写真を載せています。

清新：初の「模擬避難所体験お泊まり会」を開催。普段と違った体験が出来て大好評。
子どもたちがワクワクする事業をやっていきます。

中央：委員の活動と合わせ、地区の特色イベント「もみの木コンサート」を PR させていただきました。

大野北は 1 年間の活動とその時の募集チラシを貼り分かりやすくしました。皆さんの所とどう違うか見てもらえればと思い作成いたしました。

県大会を振り返って(パネル展示 C,D ブロック)

星が丘：こどもたちが仲間と一緒に活動している写真を選びました。展示では他ブロックの活動を垣間見る事ができとても参考になりました。

陽光台：文字より写真の方が分かりやすいだろうと思い各種活動の写真を主として載せました。当日はパネル展示を見る方があまり居なくて少々残念でした。

上溝：パネル展示コーナーにもっとたくさんの来場者が立ち寄っていただけるとよかったです。

田名地区は子どもたちが中心で企画を行っている様子と、ご家族皆さんで楽しまれていることをお伝えしました。

光が丘：『茶道、料理、宇宙、環境、スポーツなど心躍る体験豊富な光が丘』のアピールに全青少指の知恵を詰め込みました。

麻溝：D ブロックで一体感を出す為にパネルの中央の四葉に地区名を入れ、各地区文字表示の大きさを統一しました。

相模台：共同作業で掲示物を作成しながら情報交換もでき有意義でした。今後、ブロックでの共同イベントも『有り』かと思いました。

相武台では、新しい取り組みとして「夏休みこども料理教室(簡単レシピのチキンカレー作り)」を紹介しました。

新磯：こどもたちの生き生きとした表情や弾ける笑顔をたくさん載せました。見る側も笑顔になること間違いなし！

県大会を振り返って(パネル展示 E,F ブロック)

大野中：最近ジュニアリーダー養成研修が実施される地区も少なくなって来ていることから、それをメインに据えました。

東林：数枚の写真で行事を紹介するのに苦労しました。各地区で工夫を凝らした展示が参考になりました。

上鶴間：子どもたちの写真を中心に、1 年間の活動を写真とコメントで表現しました。みんなが楽しんでいることが伝わると幸いです。

大野南：作成にあたり、写真の選択、見出し等、配分に苦労しました(^-^;) 他の地区のパネル展示は、とても見易く勉強になりました！

大野台：今年度の活動は、コロナの影響もなくなり、従来通りのイベントが開催出来ており、子どもたちの笑顔が戻って来ました。

大沼地区は人気の七夕のつどいを中心に紹介、公民館の吹き抜け 2 階の天井まで届く迫力ある竹は地域の方より提供いただき願いを書いた短冊で彩られます。

津久井：各地区とも大変分かりやすく、コンパクトに活動内容が写真と共に記述されていた。パネルではなくスライド発表がより効果的のように思います。

城山地区では、地区内にある、かながわの景勝 50 選・かながわの橋 100 選の小倉橋を背景に人気の 3 事業を紹介しました。

相模湖地区では、湖を生かしたカヌー教室を中心としたデイキャンプを昨年から再開できて、子どもたちに喜ばれています。

藤野：陣馬山の白馬、竹細工とかぐや姫ご飯と藤野ならではに仕上がりました。横浜の会長さんが藤野出身で懐かしそうに見られていました。

県大会を振り返って(パネル展示専門部)

研修部コメント
紹介したのは前年度の活動が主になってしまいました。
今後は、相模原市をもっと知ろう！ということでまだまだ知られていない相模原をピックアップした研修を企画していきたいと思います。

事業企画部コメント
会場入り口に展示された8枚のパネルが立派でした。参加者の殆どが制服を着用した指導委員の説明を聞きながら会場に入っていきました。
とても良い相模原指導員大会でした。

広報部コメント
事前準備で広報誌のバックナンバーを並べる際に、つい中を見入ってしまい、なかなか作業が進まない状況でした(笑)
見ていただいた方から、「よく編集されていますね」といったお褒めの言葉などもいただき、励みになりました。

ミニレクリエーション会 ～市体育館～

9 月 29 日（日）に第 17 回青少年指導委員ミニレクリエーション会が相模原市体育館（中央区）で実施されました。当日は約 60 人の青少年指導委員が各競技を競いました。

コロナ禍前はミニ運動会として一日（約 10 種目競技）で行われていましたが、今年は昨年度に引き続き午前のみ（対抗競技 4 種目、個人競技 1 種目）で開催されました。チームの構成は基本ブロックごとですが人数調整をしながら 6 チームに分かれました。

競技に先立ち開会式では、齊藤会長と事業企画部の伊藤部長からの挨拶、そして青森弁ナレーションのラジオ体操を行いました。

まだまだ暑さが続くなかではありましたが、少し雲がかかっていたこともあり動きやすいスタートとなりました。

魚釣りリレー

カップスタンディング

魚つりリレー、カップスタンディング、ラダーゲッター、休憩をはさみ、ヘリウムバーをチーム対抗で行い、最後は個人競技の勝ち抜きじゃんけん大会を行いました。今年の優勝は E ブロックでした！

時間が経過するうちに、初対面の委員さんも気持ちがほぐれ、いつのまにかチーム内で団結の輪ができていました。

ヘリウムバー

優勝した E ブロックの面々

束の間でしたが、レクリエーションを通じて青少年指導委員の交流（コミュニケーション）ができかと思われます。各地区でも機会がありましたら活用されてみてください。今回も事業企画部の皆さん、企画・運営ありがとうございました！

◆事業企画部の方々にインタビューしてみました◆

今回、大会がリニューアルされ 2 回目の開催でしたが、どのような思いや工夫をされましたか？

「とにかく楽しく盛り上げていきたい！」と伊藤部長が話していましたが、実際委員の皆さんが楽しんでいてよかったです。

「静」のボッチャから「動」のカップスタンディングに種目を入れ替え、冷静さとスピードに皆さんの必死さが伺えましたね。

じゃんけん大会では、今回限りの大型景品(昨年は韓国のりとバナナ)を多数追加！みなさんの盛り上りを垣間見えました。

また、今回「ラブラブ顔入れハートフレーム」が登場し、仲睦まじい写真も多数うまれました！

今年度より新しいメンバーで部会がスタートしましたが、あっという間に内容（種目や盛り上げるためのアイデア）が多数でてきました。この事業の担当部員を中心に皆でやり遂げることができたと思います。

10 月 12 日 ほかほかふれあいフェスタ 2024 ～ウェルネス前広場～

今年も、相模原市役所前のウェルネスさがみはら、あじさい会館、けやき会館を会場として開催されました（健康フェスタ、ほかほかふれあいフェスタ、パラスポーツ体験会が同時開催）

子どもから高齢者まで誰もが気軽に参加できる、心と体の健康作りに役立つ情報が盛りだくさんの楽しいイベントで、障がいのある人もない人もみんなで楽しむお祭りです。

青少年指導委員はウェルネス前の広場において、魚釣りゲームで参加しました。

いつものイベントのように子どもたちが大勢集まるものではなかったので、行列もなし、時間制限もなしでゆったりと行うことが出来ました。

子どもたちも釣り放題なので大喜び！30 匹以上釣り上げた参加者もいました。

スポーツエスティバル 2024 ～ギオンスタジアム～

バンブーダンス

10 月 14 日、スポーツの日、快晴、少しの風。ここはアスリートが覇を競った相模原ギオンスタジアム。今、そのフィールドに立っています。

今日は『さがみはらスポーツフェスティバル 2024』が開催され、青少年指導委員（以下、青少指）はバンブーダンスのブースを開設。先日の『親子ふれあい広場』でも実施予定でしたが、天候悪く中止でした。今日は絶好のバンブーダンス日和になり、新任の青少指はデビューです。青少指は 2 班に分かれて、10 時から 1 時間シフトで回ります。

9 時 30 分からの開会式に参加しました。市長挨拶では「今日は 6 年ぶりの通常開催」とのことでした。

市議会議長、来賓挨拶の後、長野信一さんの体操指導です。ストレッチ、バランストレーニングを行った後、ラジオ体操第一でした。これが結構よかったです。体幹が決まって、良く伸び、安定した体操ができました。

ブースに戻って、バンブーの操作やステップの練習をしているうちに 10 時になり、早々に子どもたちが参加しました。その後、行列は途切れることもなく適度な混み具合で続きました。程なく、市長が見えて、チャレンジされ、終わり頃にはステップも板につきました。

午後には、武道着やカラフルなコスチュームの子どもたちやバンブーダンスの経験があるお母さんがお子様と次々に参加され、うまくいっては歓声、引っかかっても歓声でした。新任の青少指もバンブー操作がうまくできるようになりました。

本日は青少指の参加 34 名、バンブーダンス参加は 384 名でした。撤収作業は手際よく済ませることができました。天気も良く笑顔あふれる素敵なスポーツの秋を体感した一日になりました。

以下は担当者のコメントです

シフト空き時間に、推しであるダイナボアーズブースに駆け付け、楕円球のパス、キック、ステップ体験を楽しみました。また、身体力テストにチャレンジ。全種目完了し、「実年齢―20 歳」の結果に大満足です！

隣のブースでモルックを体験。時短ルール採用、公民館行事にも混雑時には取り入れたいと思います。

10月6日

親子ふれあいの広場 ～淵野辺公園～

今年の親子ふれあい広場は、昨年と同様に淵野辺公園で開催されました。

天候は小雨模様で開催が危ぶまれましたが、予定通り 10 時に開催されました。悪天候のため、来場者の出だしは悪く、盛り上がりに欠ける状況でしたが、午後には雨が上がり、外遊びには最高のコンディションとなり、時間が経つに従い大賑わいとなりました。

青少年指導委員は、創作コーナー（クルクルダンス）、魚つり、コーヒーコーナー、ビンゴゲームの進行を担当しました。予定していたバンブーダンスは足場が悪く、滑る危険性があるので、中止となりました。

◆参考データ
- 青少年指導委員：84 名
- 創作コーナー(クルクルダンス)来場者：325 名
- 魚つり来場者：421 名
- ビンゴゲーム参加者：250 名
- コーヒーコーナーの利用も大盛況！

恒例の魚つりは、リピーターも多く、来場者が途切れることなく大盛況でした。創作コーナーは、幼児から小学生高学年まで参加し、小さいお子さんは、付き添いの家族と共に創作を行ない、イベント名にふさわしいふれあいが行なわれました。

午後には、青少年指導委員の司会進行で、子どもたちを対象にしたビンゴゲームが行なわれ、多くの子どもたちが参加して、大盛り上がりでした。

2024 年度表彰受賞者紹介　＞受賞された皆様おめでとうございます＜

■相模原市市政功労表彰（2024 年 11 月 20 日　市制記念日）

市民もしくは市に関係のある個人または団体で、市の公共福祉の増進および教育文化の向上に尽力された方、または市の公益に関し、とくに業績が顕著であったと認められた方を対象に表彰します。

>>受賞者<< 酢谷顕央さん(大沢)、嶋田千代子さん(清新)、野口裕光さん(大野中)

■神奈川県青少年育成活動推進者表彰（2025 年 2 月 11 日）神奈川県立青少年センター

県内の青少年の健全育成に熱意をもってあたり、その業績が特に顕著な個人に対し、神奈川県青少年問題協議会会長が感謝の意を表し、表彰します。

>>受賞者<< 秋本仁さん(津久井)、佐藤道義さん(相模湖)、橋爪須磨子さん(相模湖)、野口裕光さん(大野中)、福﨑誠治さん(大沼)、

■神奈川県青少年指導員表彰（2024 年 11 月 10 日･青少年指導員大会）相模原市南市民ホール

青少年指導員活動において顕かに功績が認められる者に対し、神奈川県青少年指導員連絡協議会が感謝の意を表彰します。相模原地域からは、佐藤亘さん(藤野)、安田京子さん(陽光台)、宮地よし子さん(上鶴間)の 3 名が表彰されました。

佐藤亘さん

神奈川県青少年指導員表彰に感謝致します。少子化の中、地域の方との伝統継承と新たな取組みを後押ししてくれるでしょう。

安田京子さん

今までの活動が青少年指導員として何かの力になれたのなら幸いです。メンバーに恵まれ楽しく活動できたことに感謝します。

宮地よし子さん

令和 6 年神奈川県青少年指導員表彰ありがとうございます。地域の子どもたち、それにかかわる方々と活動ができたことに感謝します。

はたちのつどい着付け直し

2025 年 1 月 13 日
杜のホールはしもと･相模原市民会館･グリーンホール

今年も着付け直しボランティアに 3 拠点で計 8 名が参加してくれました。

普段、振袖はもちろん和服に慣れていない新成人の娘さんたち、きちんと着付けてもらっても車の乗り降りなどで裾を踏むなどして着崩れしてしまい、頼ってくる人が何名かいました。また男子でも袴の裾を引きずって気づかずにいる子がいたりして･･･

市民ホール前の新成人たち

助けに来るのを待っているだけでなく、気になった人にはこちらから声をかけて着付け直しをしました。ボランティアの皆さんありがとうございました。

★この事業は青少年指導委員連絡協議会が受託しており、本市に住む若者の新たな門出を祝い、支える役割を果たしています。

連絡協議会･市行事の主な予定

◆市民さくらまつりチビッ子広場	2025 年 4 月　5 日(土)･ 6 日(日)	相模原市役所前広場周辺
◆予算総会	2025 年 4 月 21 日(月)	総合学習センター

私のおすすめスポット　～市役所展望室～

みなさん、相模原市の展望台といえばどこを思い浮かべるでしょうか？
麻溝公園のグリーンタワー？それとも龍籠山の展望台でしょうか？
宮ケ瀬ダム展望塔などいろいろあると思いますが、今回ご紹介するスポットは、相模原市街からすぐにアクセスできる**「市役所展望室」**です。

アクセスは簡単！市役所のエレベーター6F で降りて
案内表示に従って階段を登るだけ！！

展望室自体はそこまで高くないのですが、高いビルなどが少ないため、かなり遠くまで見ることができます。
東は東京タワー、南は横浜ランドマークタワーまで見えます。
天気が良ければ西の方向には富士山も（少しだけ）見えます。
市役所に用事がある際に少し足を伸ばしてみてください。（写真・記事：上鶴間地区　中津川武司）

◆役員交代のお知らせ

副会長　伊藤時彦(事業企画部長)の逝去により、新たな役員を選任しました。
未澤秀雄(大野台)　副会長(事業企画部長)〔2025/2/10 付役員選考委員会にて選出、同日の役員会にて承認〕

「はげいとう」次号発行予定　**☆第 72 号は 2025 年 9 月発行予定です。**

■はげいとう　第 71 号　編集スタッフ・編集後記(広報南グループ)

編 集 長	齊藤　一城（大野中）	Thanks to the hard work of all the staff, we were able to publish on schedule! （みんなの頑張りで、予定通り発行することができました。感謝です！）
副 部 長	川鳥　梨乃（相武台）	紙面に書いて欲しい記事のテーマ、待っています♪次号で特集になるかも!?
書　　記	北原　雅美（相模台）	おつかれさまでした。メンバーに感謝ヾ(＾∇＾)ﾉ
書　　記	橋口　壽恵弘（東林）	仕事の勤務形態が変更になり事業に参加出来なくてすみません。広報部の皆様ご苦労様でした。
部　　員	成田　博史（光が丘）	青少指、広報、記事編集と初めて尽くしでしたが、『はげいとう』作りに関われた実感、格別です。
	田中　博幸（陽光台）	広報担当１年目、校正や編集の大変さを実感、先輩方の凄さに感嘆の毎日、来期の糧にしようと、決心。
	本多　直行（麻溝）	仕事の関係で参加出来ずにご迷惑をお掛けしました。素晴らしい広報誌の発行有難うございました。
	竹内　明（新磯）	数々の有意義な活動をしている青少指！いろいろな方に、認知度をアップしていきたいです。
	石原　みなほ（大野南）	参加が少なくてすみません。各地区の行事、イベント、景色・・・近くでも知らない事一杯ありますね。
	中津川　武司（上鶴間）	展望室に忘れ物をしたら、警備の方が気付いて持ってきてくれました。ありがとうございました。
	篠宮　雅之（大野台）	いつも見て頂いて有難うございます。これからも青少指活動中心に楽しい記事を掲載していきます。
	永田　哲久（大沼）	特集は指導員大会です。現地の様子をお楽しみください。次回の相模原開催にもご活用ください。

★相模原青少指のホームページが出来ました
「相模原市青少年指導委員」で 検索
https://www.sagami-portal.com/hp/dnt10148/

★相模原青少指では X もやっています。
「相模原市青少年」で 検索
URL: https://x.com/qHxdtN2PTG8Ue6t

★はげいとうは、相模原市の
ホームページから見ることができます。
「相模原市　はげいとう」で 検索